

大阪経済の情勢

(2022年6月指標を中心に)

2022年8月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

「大阪経済は、持ち直しの動きがみられる」

需要面では、個人消費は、持ち直しの動きが続いている。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額は増加。新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;5月)は増加。投資は、持ち直しに足踏みがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は減少。輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、弱含んでいる。大阪府(5月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(5月)は低下。全国の生産(6月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間(5月)は上昇。

先行きでは、新型コロナウイルス感染症の影響や、物価上昇等による経済への影響について、今後の動向に引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・観光	
	総合 一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
6月		▲	▲	▲	▼	▲	▲	▲	▲
5月	▲	▲	▲	▲	▼	▼	▼	▲	▲

		供給					※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。
		生産		倒産	雇用		
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)		
6月		▲	▲	▼	▲	▲	
5月	▼	▼	▲	▲	▲	▲	

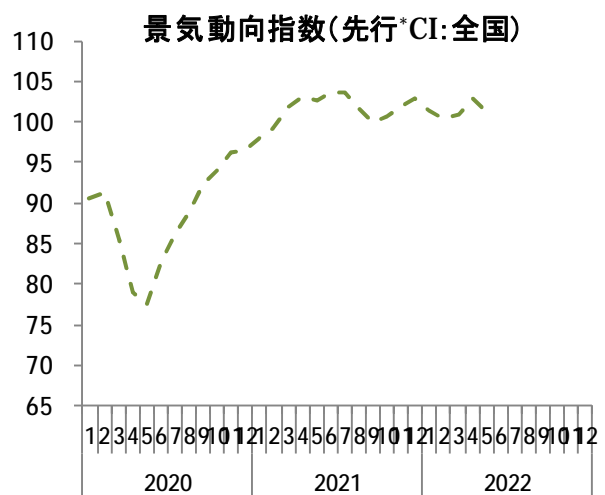
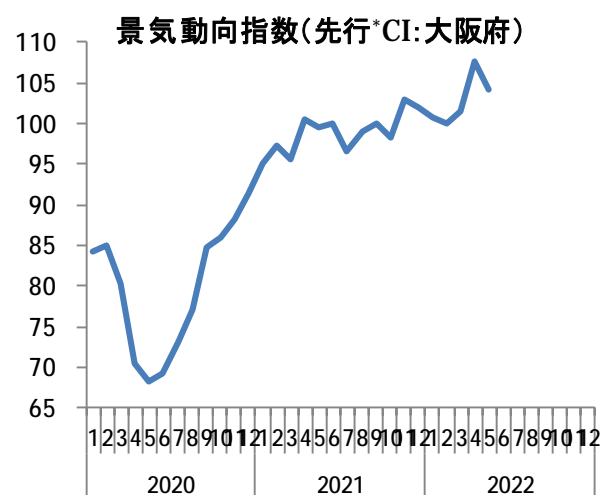
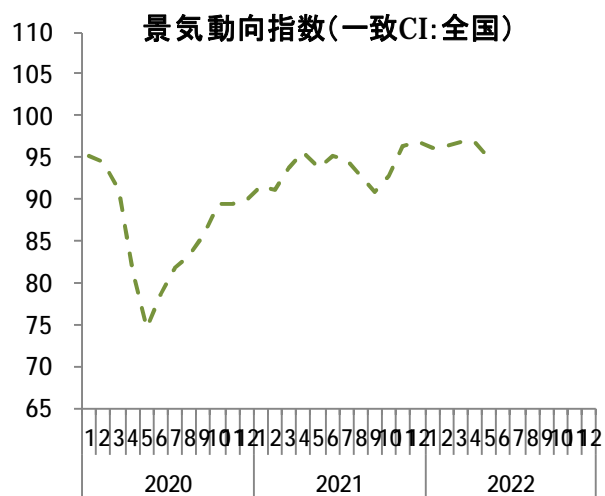
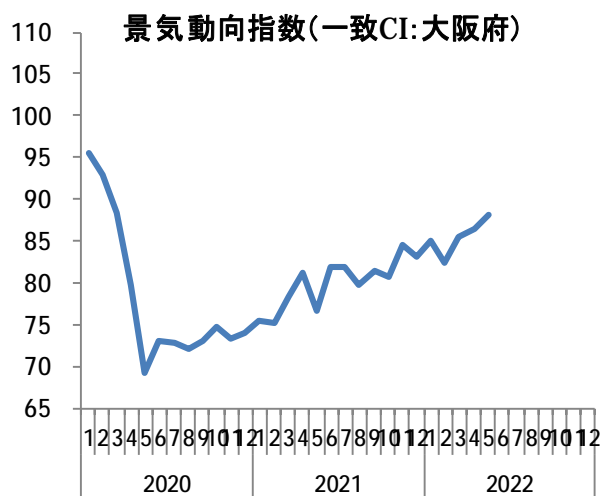
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2022年6月公表分) (2022年4月指標中心)	先月(2022年7月公表分) (2022年5月指標中心)
大阪産業経済 リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、持ち直しの動きがみられる。	大阪経済は、持ち直しの動きがみられる。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、持ち直しの動きがみられる。	景気は、緩やかに持ち直している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる。	近畿地域の経済は、一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる。
日本銀行大阪支店 「関西 金融経済概況」	—	関西の景気は、中国におけるロックダウン等の影響が残るものの、消費への感染症の影響が和らぐもとで、全体として持ち直している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(5月)では、一致CIは上昇、先行CIは低下。大阪府(一致CI)では、主に「百貨店売場面積当たり販売額」「大阪税関輸入通関額」が上昇に寄与。全国(5月)の一致CI、先行CIはともに低下。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

	大阪府		
	22年4月	5月	6月
先行CI	107.7	P 104.3	
一致CI	86.5	P 88.0	

	全国		
	22年4月	5月	6月
先行CI	102.9	101.2	
一致CI	96.8	94.9	

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、5月速報)

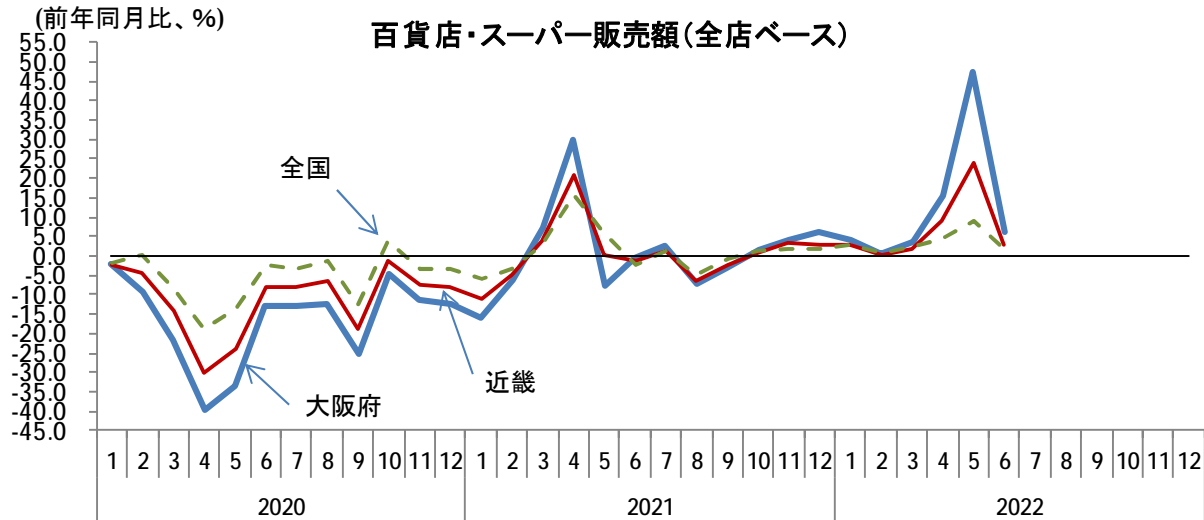
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	人件費比率(製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
1.35	0.90	▲0.30	▲0.56	▲0.35	0.27	0.13

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、持ち直しの動きが続いている。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額は増加。新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;5月)は増加。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【9ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		22年4月	5月	6月
販売額(億円)	大阪府	1,343	1,369	P 1,395
前年比(%)	大阪府	15.6	47.1	P 5.9
	近畿	9.0	24.0	P 3.0
	全国	4.6	9.1	P 1.9

百貨店販売額(全店)

		22年4月	5月	6月
前年比(%)	大阪府	41.2	223.4	P 15.3
	全国	18.2	55.3	P 11.2

スーパー販売額(全店)

		22年4月	5月	6月
前年比(%)	大阪府	▲1.5	▲2.9	P ▲2.2
	全国	0.6	▲1.1	P ▲1.2

○コンビニエンスストア販売額(全店)【7ヶ月連続の増加。】

		22年4月	5月	6月
販売額(億円)	大阪府	689	700	P 711
前年比(%)	大阪府	6.2	7.4	P 7.3
	近畿	4.4	6.1	P 5.7
	全国	2.7	3.5	P 4.2

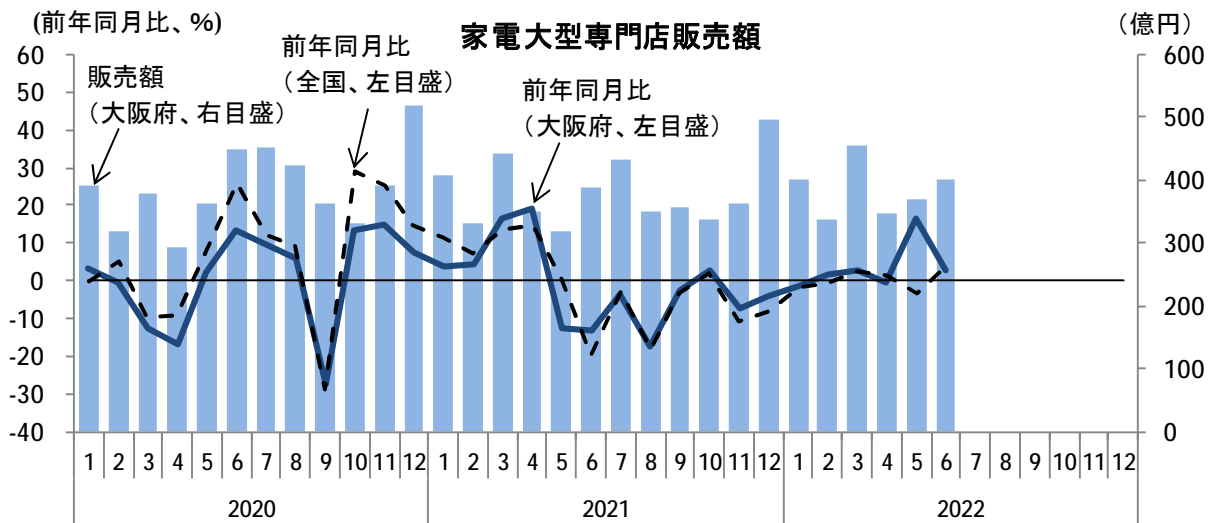
○家計消費支出【近畿(5月)は5ヶ月連続の増加。】

		22年4月	5月	6月
円	近畿	330,761	284,580	
前年比(%)	近畿	20.6	8.4	
	全国	1.2	2.4	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		22年4月	5月	6月
前年比 (%)	大阪府	▲0.3	16.6	P 2.9
	全国	1.4	▲3.3	P 3.5

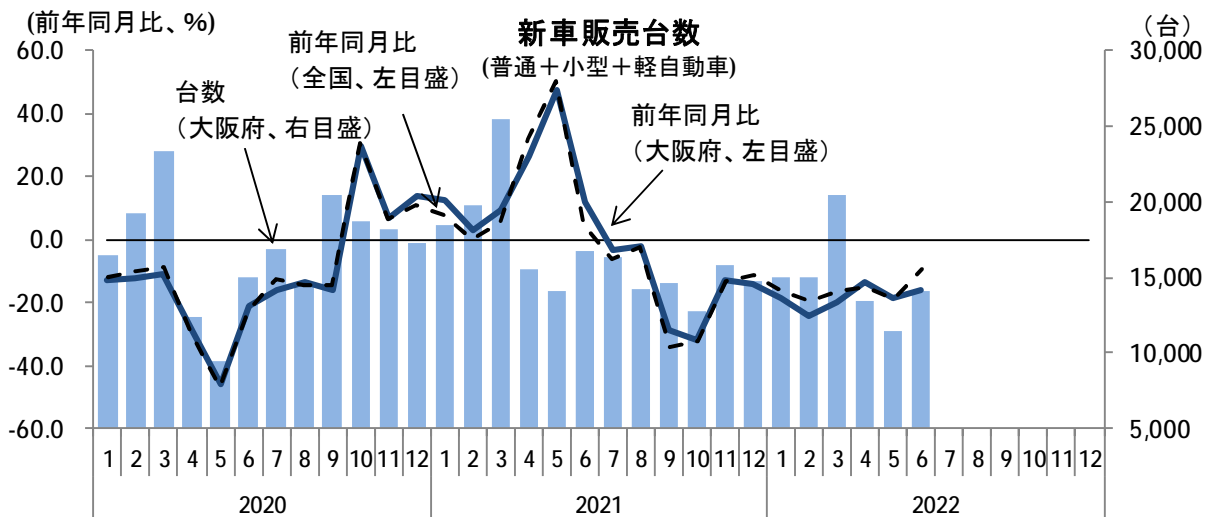
ドラッグストア販売額(全店)

		22年4月	5月	6月
前年比 (%)	大阪府	3.6	2.1	P 3.6
	全国	3.1	1.7	P 3.4

ホームセンター販売額(全店)

		22年4月	5月	6月
前年比 (%)	大阪府	▲1.2	▲5.6	P ▲2.4
	全国	▲1.5	▲3.9	P ▲0.7

○新車販売台数【前年同月比で12ヶ月連続の減少。】



(資料) (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会

		22年4月	5月	6月
販売額(台)	大阪府	13,381	11,393	14,042
前年比 (%)	大阪府	▲13.7	▲18.7	▲15.9
	全国	▲15.3	▲19.0	▲9.6

車種別の増減

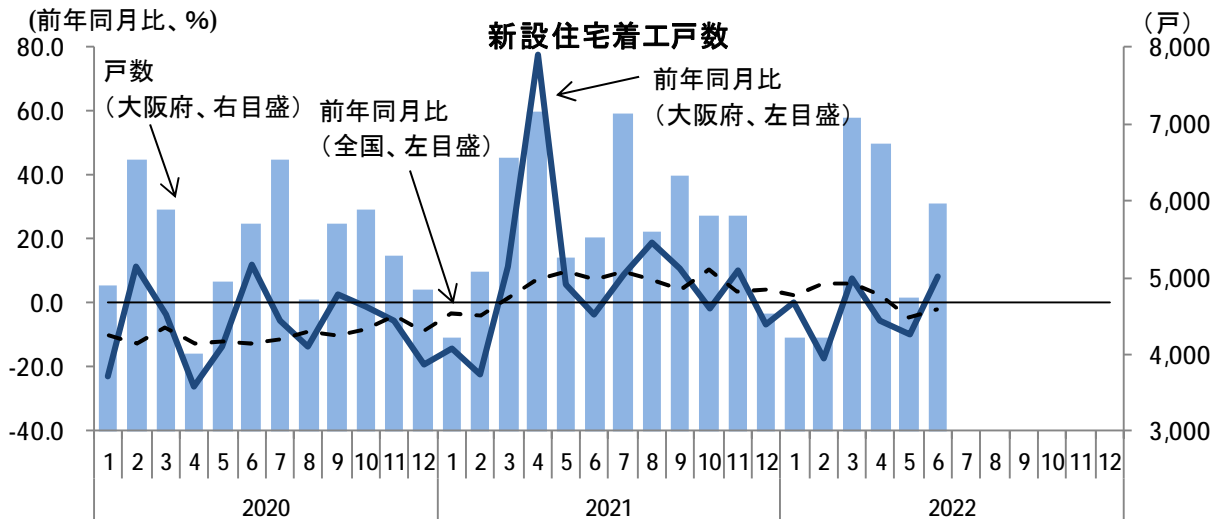
(大阪府、前年同月比(%)、6月)

普通車	小型車	軽自動車
▲18.2	▲20.0	▲7.8

[需要] 投資

投資は、持ち直しに足踏みがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は減少。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で3ヶ月ぶりの増加。】

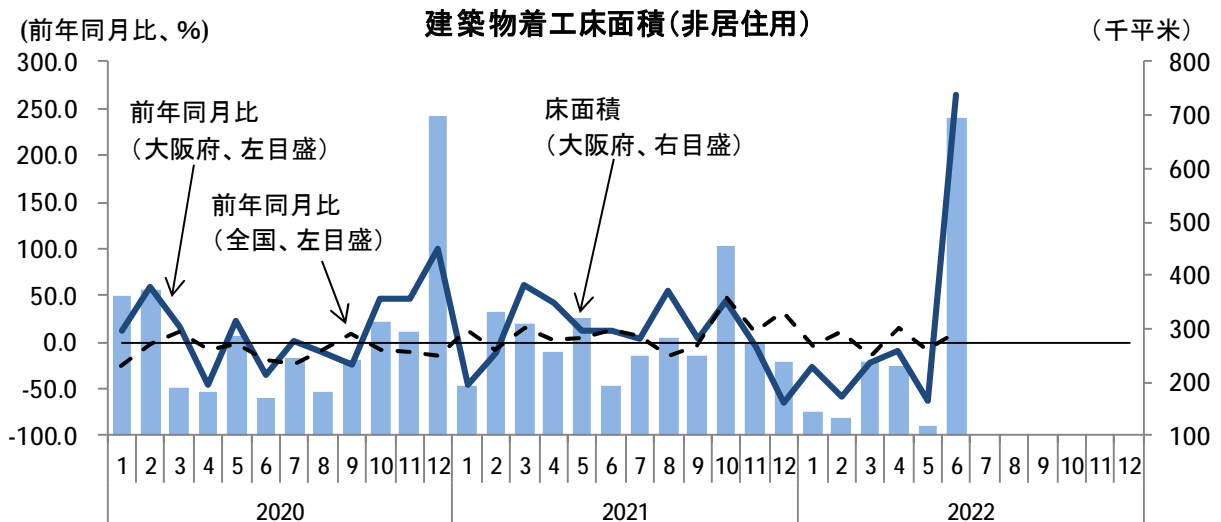


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		22年4月	5月	6月
戸数	大阪府	6,741	4,749	5,976
前年比 (%)	大阪府	▲5.7	▲9.8	8.2
	全国	2.2	▲4.3	▲2.2

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%)、6月)		
持家	貸家	分譲
3.9	▲1.0	39.2

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で8ヶ月ぶりの増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

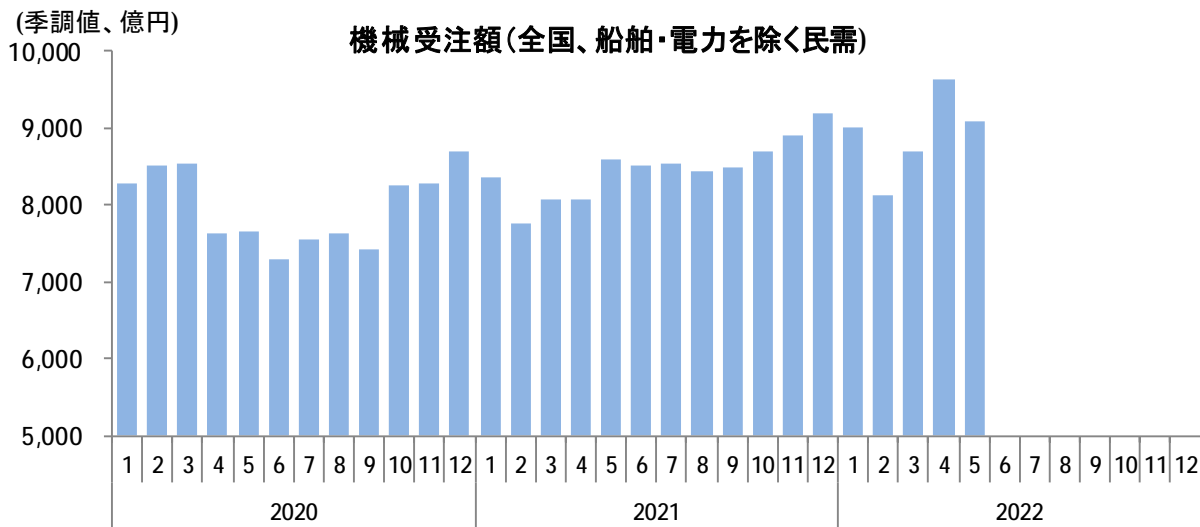
		22年4月	5月	6月
千 m ²	大阪府	231	117	695
前年比 (%)	大阪府	▲10.4	▲63.7	263.6
	全国	15.6	▲8.4	12.0

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%))、6月)	
増加	運輸業(190.2)、教育・学習支援業(47.2)、不動産業(43.6)
減少	医療・福祉(▲34.9)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

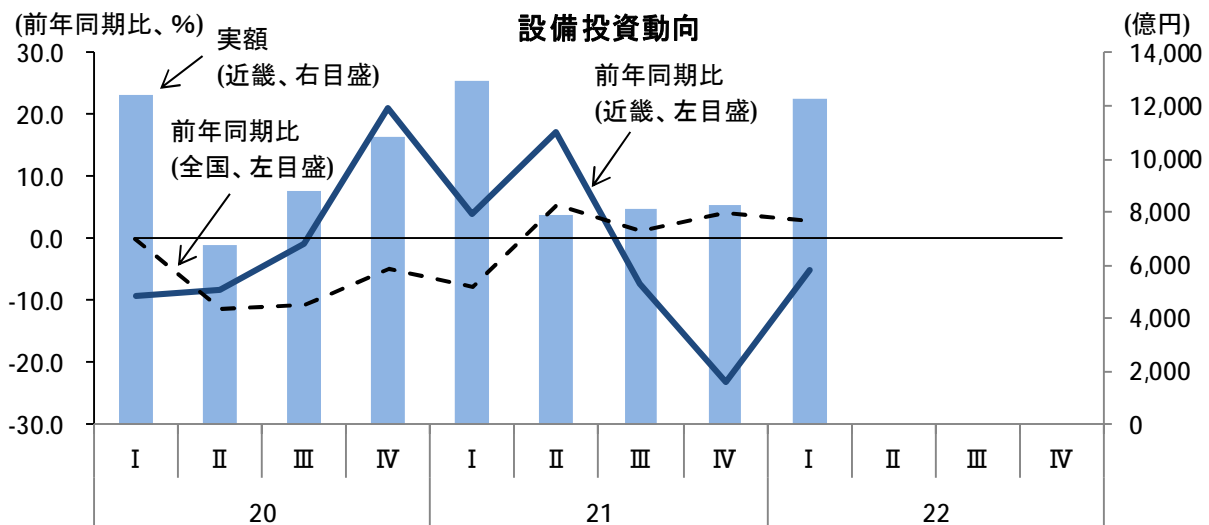
○機械受注額【5月(全国)は前月比で減少。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	22年4月	5月	6月
全国(億円)	9,630	9,088	

○設備投資動向【1~3月期(近畿)は前年同期比で3期連続の減少。「製造業」は増加、「非製造業」は減少。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		21年7~9月	10~12月	22年1~3月
億円	近畿	8,155	8,298	12,278
前年同期比(%)	近畿	▲7.2	▲23.1	▲5.0
	全国	1.2	4.3	3.0

○公共工事請負金額【2ヶ月連続の減少。】

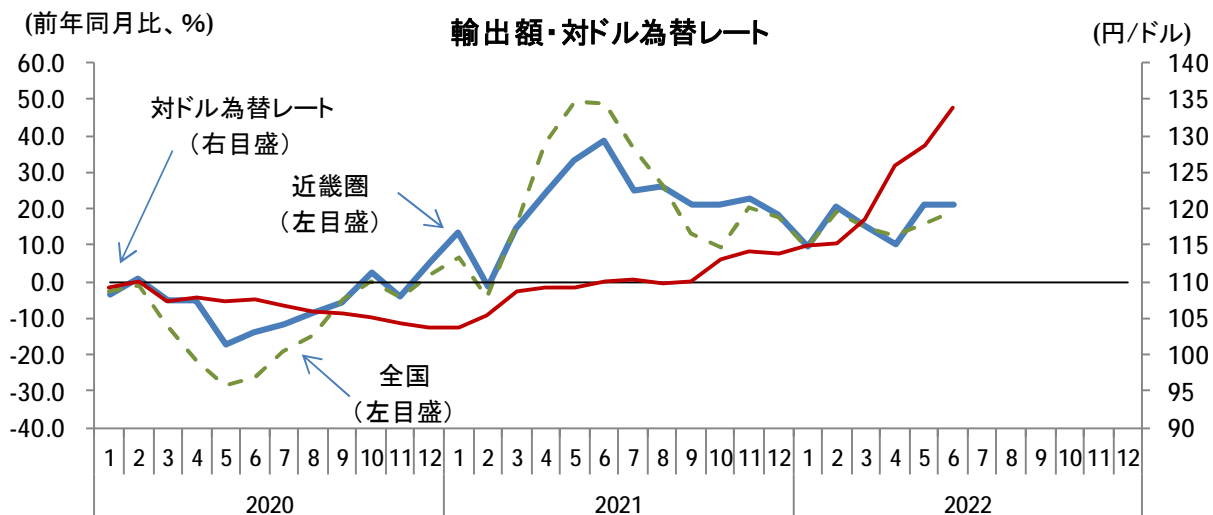
		22年4月	5月	6月
億円	大阪府	1,466	425	497
前年比(%)	大阪府	26.7	▲2.5	▲1.5
	全国	▲4.0	▲10.3	0.1

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

○輸出額【16ヶ月連続の増加。「半導体等電子部品」、「医薬品」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

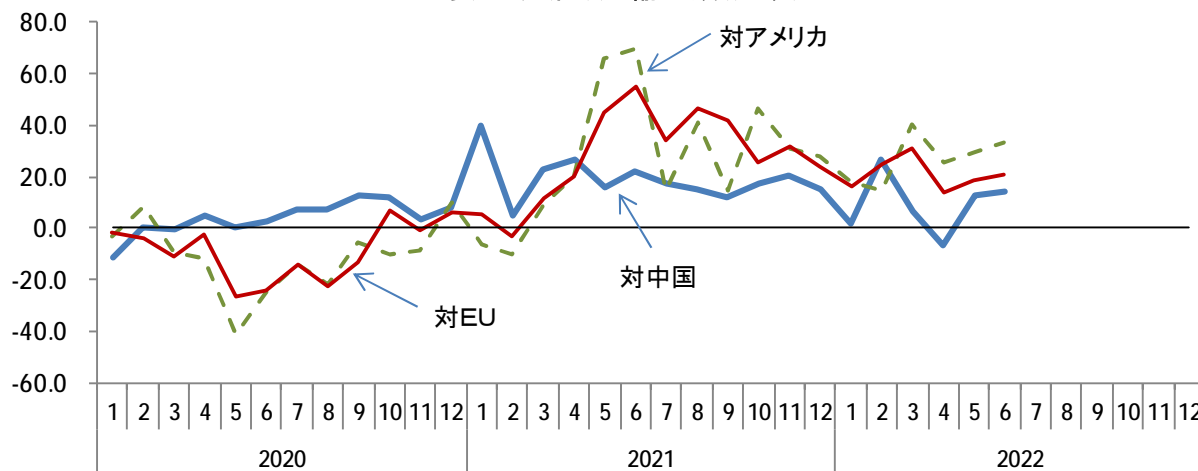
		22年4月	5月	6月
輸出額(億円)	近畿	17,606	16,737	P 19,458
前年比 (%)	近畿	10.2	21.0	P 21.0
	全国	12.5	15.8	P 19.4
為替レート(円/ドル)		126.04	128.78	133.86

品目別の主な増減
(近畿、前年同月からの増減額順、6月)

増加	半導体等電子部品、医薬品
減少	建設用・鉱山用機械、遊戯用具

(前年同月比、%)

主要地域(国)別輸出額(近畿)



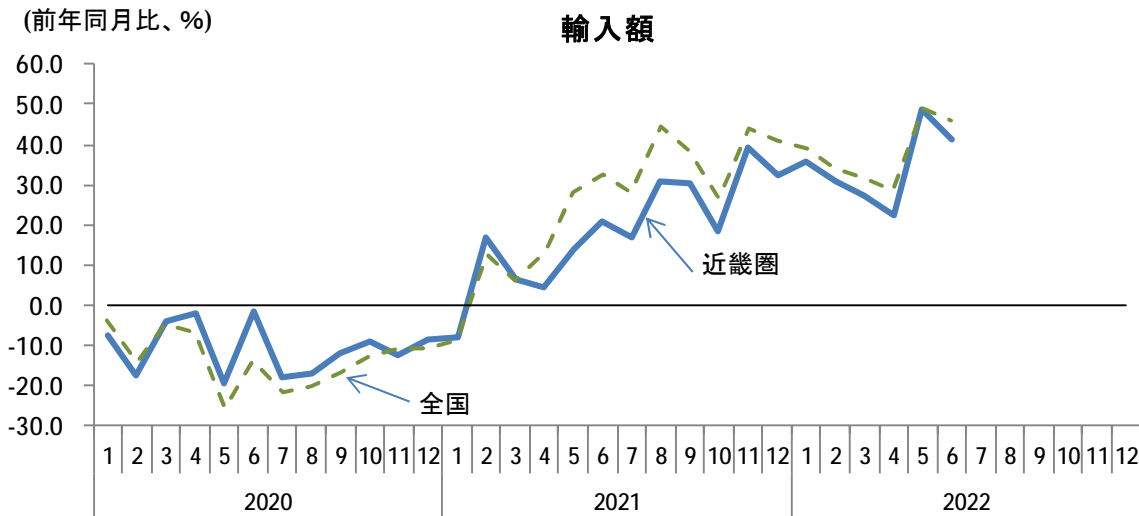
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、6月)

アジア(含む中国)	16.0	19ヶ月連続の増加
中国	14.3	2ヶ月連続の増加
ASEAN	23.5	16ヶ月連続の増加
EU	21.0	16ヶ月連続の増加
アメリカ	33.5	16ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【17ヶ月連続の増加。「原油及び粗油」、「天然ガス及び製造ガス」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		22年4月	5月	6月
輸入額(億円)	近畿	15,712	P 17,232	P 18,115
前年比 (%)	近畿	22.2	P 48.8	P 41.2
	全国	28.4	P 48.9	P 46.1

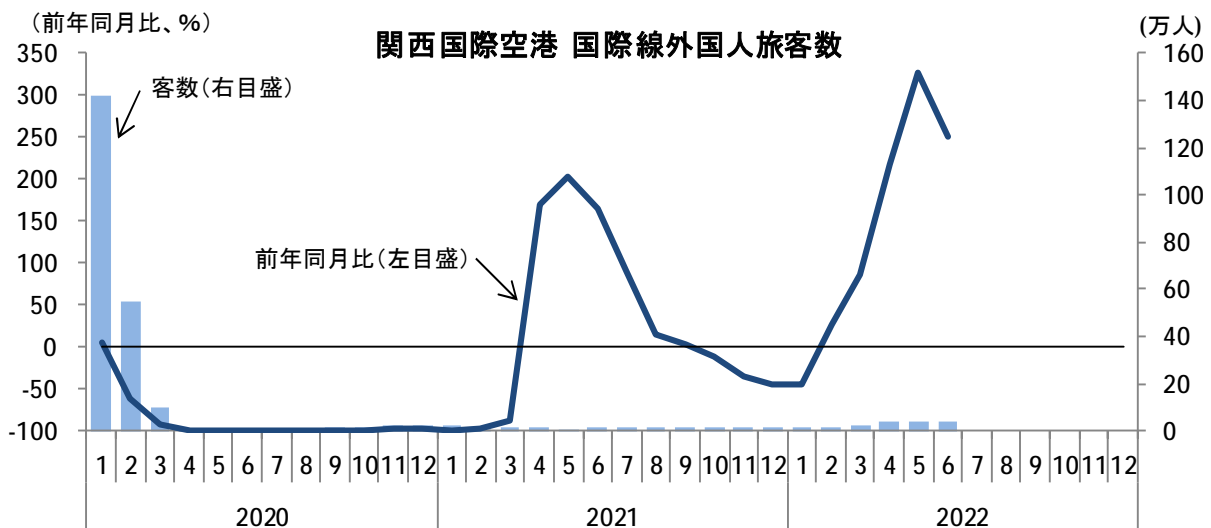
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、6月)

増加	原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス
減少	鉄鉱石、たばこ

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、6月

アジア(含む中国)	39.0	17ヶ月連続の増加
中国	41.1	2ヶ月連続の増加
ASEAN	42.4	17ヶ月連続の増加
EU	17.4	11ヶ月連続の増加
アメリカ	22.7	2ヶ月連続の増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で5ヶ月連続の増加。】



(資料)関西エアポート(株)

	22年4月	5月	6月
万人	3.6	P 3.8	P 3.9
前年比 (%)	216.4	P 327.6	P 251.8

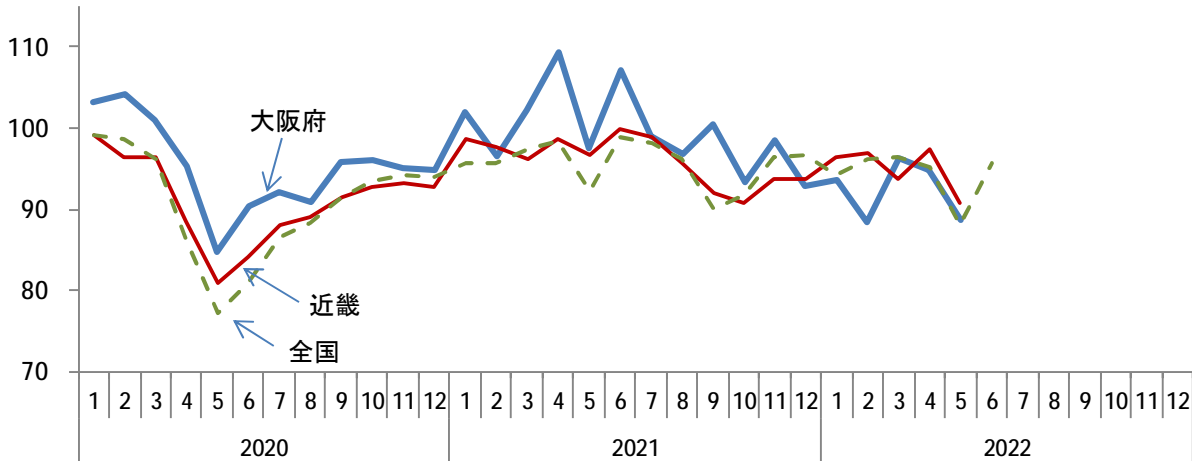
[供給] 生産・企業活動

生産動向は、弱含んでいる。大阪府(5月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(5月)は低下。全国の生産(6月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。

○鉱工業生産指数【大阪府(5月)は2ヶ月連続の低下。「輸送機械工業」、「生産用機械工業」などが低下。近畿(5月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの低下。全国(6月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの上昇。】

(季節調整済)

鉱工業生産指数



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	22年4月	5月	6月
大阪府	94.7	P 88.7	
近畿	97.5	90.7	
全国	95.1	88.0	P 95.8

鉱工業出荷指数

季調済	22年4月	5月	6月
大阪府	96.0	P 86.5	
近畿	101.6	92.5	
全国	93.0	89.2	P 93.3

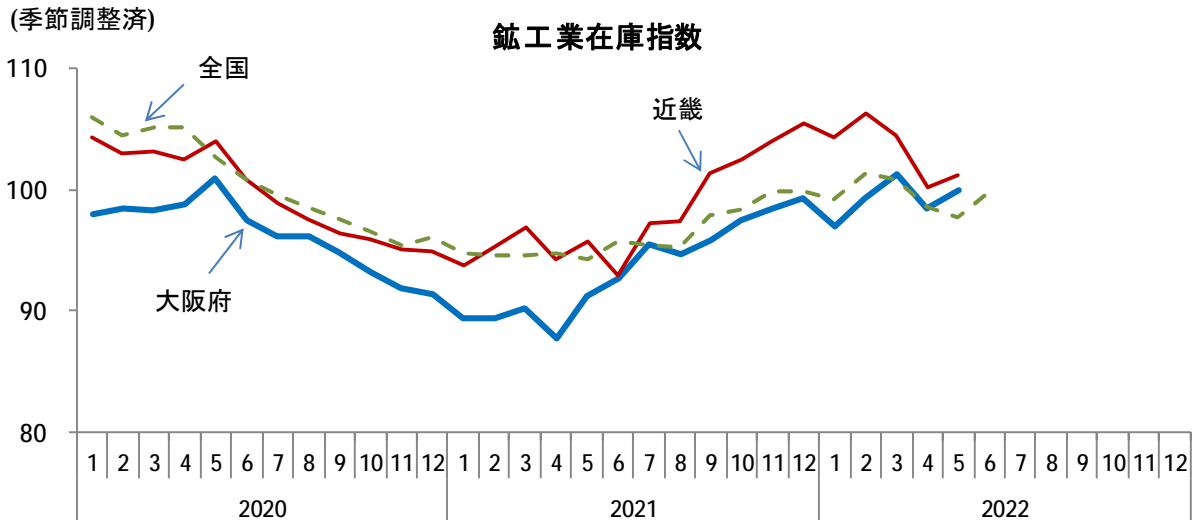
生産指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、5月速報)

上昇	化学工業(9.6):医薬品、アンモニア
低下	輸送機械工業(▲33.7):小型乗用車、シャシー・車体部品
	生産用機械工業(▲19.0):シヨバル系掘削機械、装輪式トラクタ
	汎用・業務用機械工業(▲13.6):試験機、汎用内燃機関

[供給] 生産・企業活動

○**鉱工業在庫指数【大阪府(5月)は2ヶ月ぶりの上昇。「化学工業」、「はん用・業務用機械工業」などが上昇。近畿(5月)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(6月)は4ヶ月ぶりの上昇。】**



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 ※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

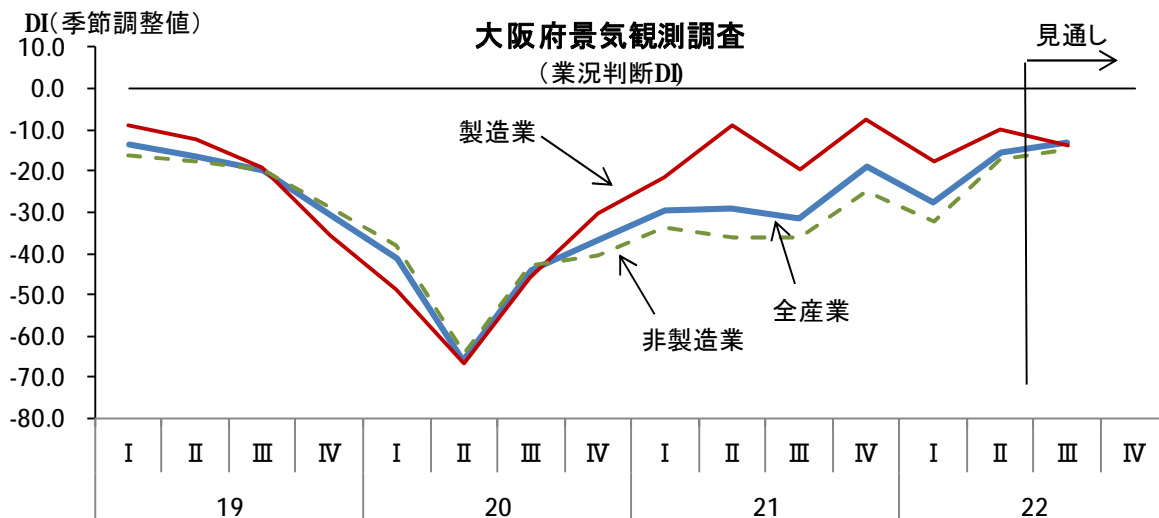
鉱工業在庫指数

季調済	22年4月	5月	6月
大阪府	98.5	P 99.9	
近畿	100.1	101.2	
全国	98.6	97.7	P 99.8

在庫指数における産業別の主な変動
 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、5月速報)

上昇	化学工業(2.6):アンモニア、水系合計樹脂塗料
	汎用・業務用機械工業(2.1):汎用内燃機関、エアハンドリングユニット
低下	輸送機械工業(▲45.8):小型乗用車
	電気・情報通信製品工業(▲2.4):セパレート形エアコン(室外)、電気冷蔵庫

○**企業の業況判断【4~6月期(全産業)は2期ぶりの改善。】**

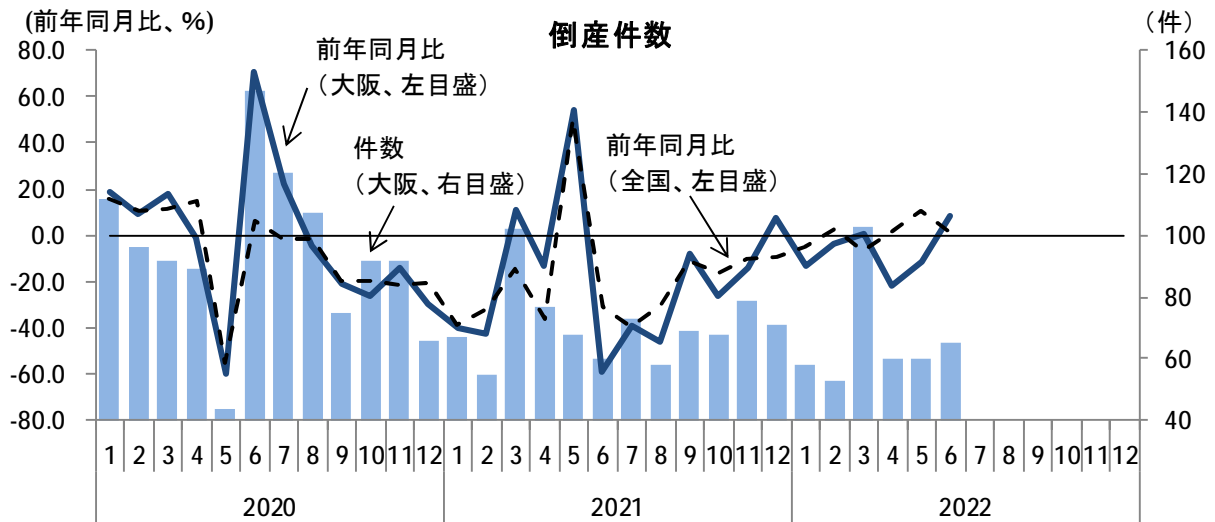


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	21年 10~12月	22年 1~3月	4~6月	7~9月 (見込み)
製造業	▲7.5	▲17.9	▲10.2	▲13.7
非製造業	▲24.9	▲32.4	▲17.1	▲14.7
全産業	▲19.0	▲27.8	▲15.8	▲13.0

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で3ヶ月ぶりの増加(悪化)、負債金額は前年同月比で2ヶ月連続の増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		22年4月	5月	6月
件	大阪府	60	60	65
前年比 (%)	大阪府	▲22.0	▲11.7	8.3
	全国	1.8	11.0	0.9

負債金額

		22年4月	5月	6月
億円	大阪府	40	74	73
前年比 (%)	大阪府	▲63.5	151.9	118.9
	全国	▲3.3	▲48.1	1697.6

主要業種の倒産件数(大阪府)

	22年4月	5月	6月
建設業	14	12	20
製造業	4	9	3
卸売業	7	4	10
小売業	5	12	3
サービス業他	21	16	23

主な倒産(大阪府、6月)

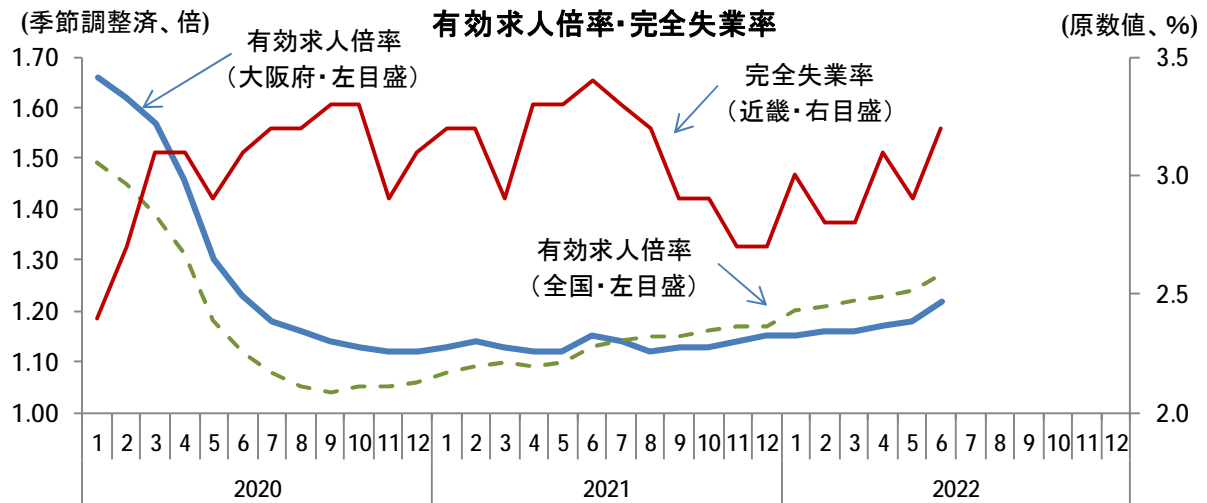
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
広告代理業	2,825	既往のシワ寄せ
婦人服地卸ほか	610	販売不振

[供給] 雇用

雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間(5月)は上昇。

○完全失業率【近畿は前年比で10ヶ月連続の改善】

有効求人倍率【大阪は3ヶ月連続の上昇】、新規求人倍率【大阪は2ヶ月連続の上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	22年4月	5月	6月
%	3.1	2.9	3.2
前年同月差	▲0.2	▲0.4	▲0.2

完全失業率(全国、季節調整値)

	22年4月	5月	6月
%	2.5	2.6	2.6
前月差	▲0.1	0.1	0.0

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	21年7~9月	10~12月	22年1~3月
大阪府	3.6	2.9	2.9
近畿	3.1	2.8	2.8
全国	2.8	2.6	2.7

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	22年4月	5月	6月
大阪府	1.17	1.18	1.22
全国	1.23	1.24	1.27

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	22年4月	5月	6月
大阪府	2.40	2.43	2.44
全国	2.19	2.27	2.24

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

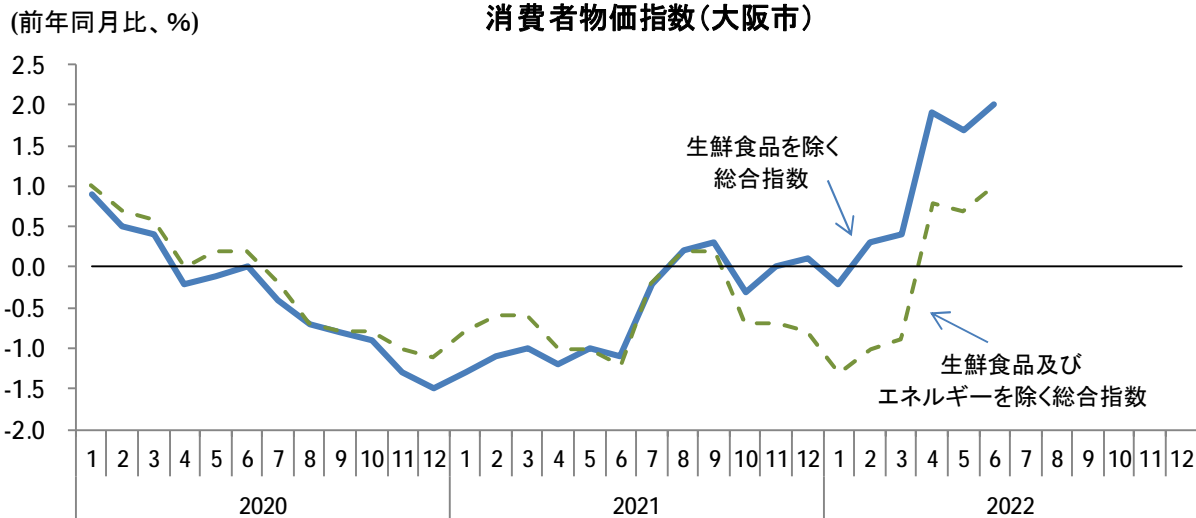
	22年4月	5月	6月
産業計	11.2	15.1	11.5
建設業	▲5.3	1.8	▲3.0
製造業	20.0	18.4	19.1
卸売業、小売業	2.3	15.3	12.6
宿泊業、 飲食サービス業	39.4	37.5	32.3
医療、福祉	2.3	11.4	10.3

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は5ヶ月連続の上昇。「食料」「光熱・水道」などが上昇。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は3ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2020年=100。

総合指数

		22年4月	5月	6月
指数	大阪市	101.0	101.3	P 101.3
前年比 (%)	大阪市	2.4	2.1	P 2.3
	全国	2.5	2.5	2.4

生鮮食品を除く総合指数

		22年4月	5月	6月
指数	大阪市	100.8	101.1	P 101.1
前年比 (%)	大阪市	1.9	1.7	P 2.0
	全国	2.1	2.1	2.2

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		22年4月	5月	6月
指数	大阪市	99.8	100.0	P 100.1
前年比 (%)	大阪市	0.8	0.7	P 1.0
	全国	0.8	0.8	1.0

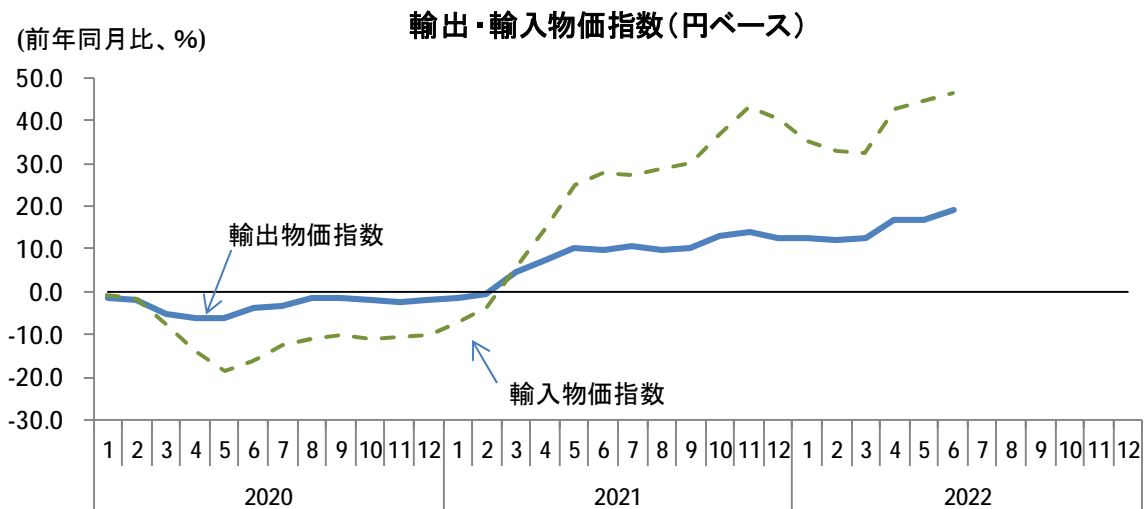
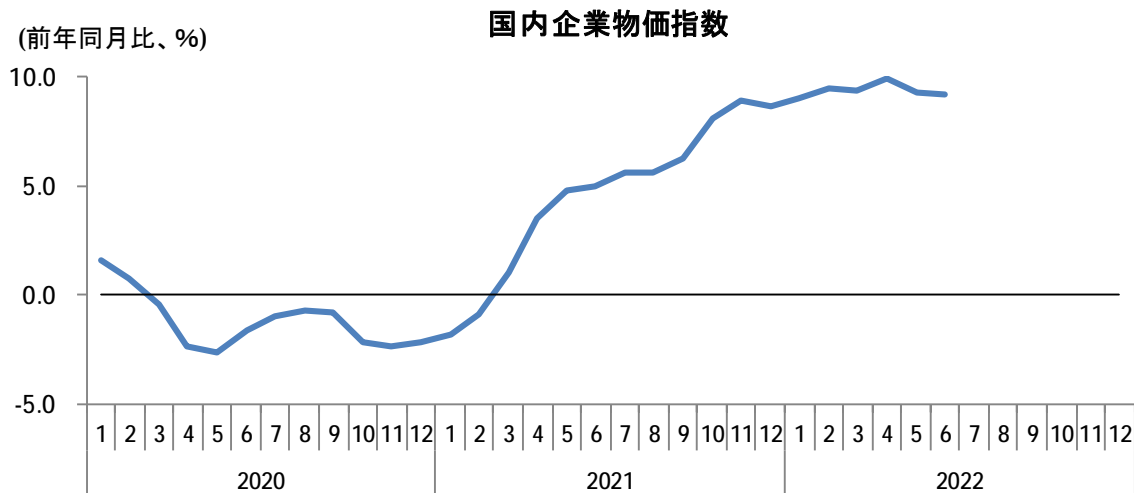
総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、6月速報)

上昇	食料(3.5):魚介類(あじ、いわし、塩さけ)、果物(りんご、オレンジ、アボガド)
	光熱・水道(12.3):他の光熱(灯油)、ガス代(都市ガス代、プロパンガス)
低下	交通・通信(▲2.7):通信(通信料(携帯電話))

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は2020年=100。

企業物価指数

	22年4月	5月	6月
国内企業物価指数	112.9	113.0	P 113.8
輸出物価指数	124.6	126.3	P 129.7
輸入物価指数	162.6	168.8	P 175.7

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2020年=100。

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(6月速報、寄与度(%))

上昇	石油・石炭製品 (0.29) : ガソリン、軽油、A重油 化学 (0.18) : 化学肥料、キシレン、ベンゼン
低下	スクラップ類 (▲0.08) : 鉄屑、銅・アルミニウム屑